

町財政と仁淀病院の民営化は 答弁Ⅱ健全財政で民営化は考えて いない



森田 ちづこ 議員

町財政は平成30年度「財政健全化判断比率」によると、実質・連結赤字比率は黒字のため数値なし、公債費比率は8.9%（早期健全化基準25%）とすべて良く、特に将来負担比率は早期健全化基準が35%のところをマイナスで、地方債（借金）の約96%が将来国より交付金措置される、いわば国の借金とも言っているもので健全であるが、ただ一つ財政構造の弾力化を表す「經常収支比率」が96%と高くなっているのはなぜか。

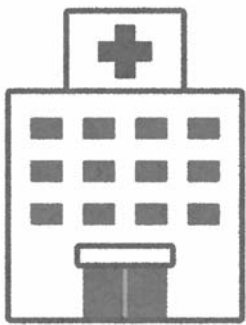
公共サービス、町営施設の民間委託や民営化が進め

られている。仁淀病院も民営化されるのではないかと心配する町民の声がある。

池田町長

經常収支比率が前年比4.2%増加した主な要因は、普通交付税が3億4800万円の算定誤りがあり、これを除くと、92.1%で、前年比0.3%の微増となる。

仁淀病院は民間企業のように採算性を追い求めるのではなく、保健・医療・福祉分野において行政が果たす役割の重要性は認識しており、仁淀病院などの民営化については、現時点では考えていない。



国や県からのお金は減っていないか
答弁Ⅱ以前より増えている

森田議員

町長が代わって、国や県からのお金が少なくなったのではないかとの声がある。平成26、27、28年度は前町長が立てられた予算であるが、池田町長の平成29、30、31年度の国、県支出金、普通建設補助事業費の当初予算額は。

池田町長

機会をとらえて、強力に県や国に要望、陳情を行っており、国や県からの支出金は増えている。



平成26年度～平成31年度 当初予算額

歳入

(千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
国庫支出金	971,041	1,156,241	1,290,565	1,433,290	1,576,786	1,767,638
県支出金	1,008,981	1,074,619	1,062,509	1,098,468	1,123,563	1,288,421

歳出

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
普通建設補助事業	807,449	1,255,275	1,533,684	2,121,990	2,797,596	2,953,676

老後の安心を

森田議員

介護施設は待機者が多く望む施設になかなか入れない現状に不安をかかえている住民が多い。

澁谷ほけん福祉課長

最後は町立の施設でお世話になりたいと思っただけのように、利用者や家族にとって十分な安心感、充実感を持ってもらえる施設が必要であると考えている。次期計画を立てる中で慎重に精査していきたい。

その他の質問事項

- ①税金の徴収について
 - ・徴収率について
 - ・国保税の徴収について
 - ・生活は再建されているか
- ②天王地区の環境整備を
ベンチ、カーブミラーの安全管理
 - ・町道の樹木は
 - ・せせらぎ通りについて